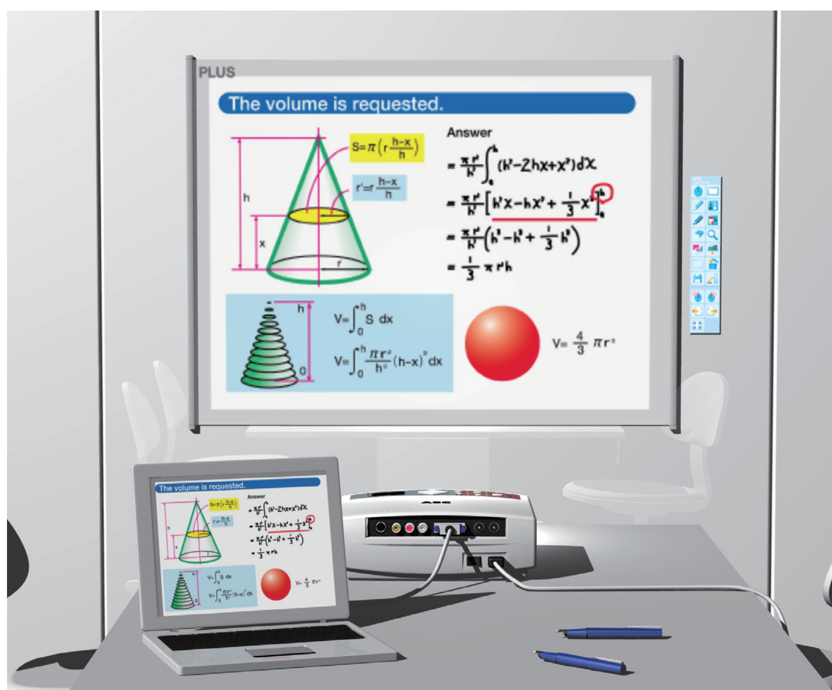
PLUS

ワイヤレス インタラクティブ パネル

UPIC-56M/UPIC-64M
UPIC-W72M

システム取扱説明書[詳細版]



このたびは、「PLUS ワイヤレス インタラクティブ パネル」をご購入いただき誠にありがとうございました。
製品の機能を十分にご活用いただくために、ご使用前にこの「システム取扱説明書[詳細版]」をよくお読みください。なお、お読みになった後も必ず保管してください。

本書は製品型名 UPIC-56M, UPIC-64M, UPIC-W72M（マグネットタイプ）のワイヤレスインタラクティブパネルの共通システム取扱説明書で、デジタルペン、パネル、ソフトウェアからなります。
・ 56,64,W72 はパネルのサイズが異なります。本書は UPIC-56M 型で説明をしています。

本製品のソフトウェアは Windows Vista (32bit) および Windows XP SP3 以上 (32bit) 対応の UPIC ユーティリティおよび UPIC Touch&Draw です。他の OS では動作しません。

ご注意

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
  この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

クラス 1 LED 製品

- 法律で禁じられているもののコピーは、所有するだけでも罰せられますから十分ご注意ください。

商標について

- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Anoto® は Anoto Group AB の登録商標です。
- Bluetooth、Bluetooth ロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
その他、記載されている商品名、会社名は、各社の登録商標、または、商標です。

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
(4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

目次

●安全上のご注意……5

●はじめに
ワイヤレスインタラクティブパネルとは……8
製品の梱包内容……9
各部の名称とはたらき……10
パネル……10
デジタルペン……11
デジタルペンの動作とインジケータの表示……11
デジタルペン乾電池の入れかた……12
スタイラスの取り替えかた……12

●ワイヤレスインタラクティブパネルを使うための準備
ワイヤレスインタラクティブパネルを使う前の準備／終了の流れ……13
ワイヤレスインタラクティブパネルの設置……14
パネルの取り付け方……14
パネルの収納……15
ソフトウェアのインストール……16
インストールの前に……16
動作環境……16
UPIC Touch&Draw の動作……16
UPIC Touch&Draw の更新について……16
著作権・使用許諾……17
UPIC ユーティリティ・UPIC Touch&Draw のインストール……18
インストール前のご確認……18
UPIC ユーティリティと UPIC Touch&Draw のインストール……18
UPIC ユーティリティ・UPIC Touch&Draw のアンインストール……20
デジタルペンとパソコンとのペアリング……21
Windows XP での登録……21
Windows Vista での登録……23
パソコンとプロジェクタとの接続……25

● UPIC ユーティリティと Touch&Draw を使う
UPIC ユーティリティの起動……26
プロジェクタとの位置合わせ……26
位置合わせ設定の変更……27
UPIC Touch&Draw の起動／終了……28
UPIC Touch&Draw の起動……28
UPIC Touch&Draw の終了……29
UPIC Touch&Draw 各部の名称とはたらき……30
投影画面（パソコン画面）……30
ツールバー……31

次ページに続く

図形の書き方 …… 34
オブジェクトの移動と拡大／縮小・回転のしかた …… 35
オブジェクト編集のしかた …… 36
拡大表示（ズーム）と描画エリアの移動（パン）のしかた …… 37
UPIC Touch&Draw 操作の概要 …… 38
UPIC Touch&Draw 基本の使い方 …… 40

●付録

エラーメッセージ一覧 …… 43
デジタルペンのインジケータ表示動作一覧 …… 43
こんなときには …… 44
仕様 …… 45
別売品一覧 …… 46
アフターサービスについて …… 47

安全上のご注意《必ずお守りください》

ご使用の前に

絵表示について

本機に付属している説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

・ 本システムで使用するプロジェクタ、パソコンおよびパソコンに接続する Bluetooth USB アダプタの安全上のご注意は各々の取扱説明書をお読みになり正しくお使いください。

	**この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。**
	**この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。**

絵表示の意味

		表示例	
	この記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。		感電注意
	この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。		分解禁止
	この記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。		電源プラグをコンセントから抜く



【パネル】



本体パネルに磁性記録媒体を近付けない

磁気型パネル（型名：UPIC-56M/64M/W72M）には磁気幕を張り合わせており、また、四隅には磁石が埋め込まれています。キャッシュカード、定期券、フロッピーディスク、ビデオテープ、カセットテープ等の磁性記録媒体をパネル面および押さえバーに近付けないでください。約 10cm 以内に近付けると記録データを破損する恐れがあります。



プロジェクタについて

本システムはプロジェクタを用いて画像を投影します。プレゼンテーションなどを行う場合、プロジェクタの光が目に入ることがあります。
プロジェクタの光を直視すると目を痛める原因となりますので、十分にご注意ください。

次ページに続く



スクリーンを広げた直後には、剥がれないことを確認する

スクリーンを広げた直後は、押えバーから手を放しても貼り付け面から剥がれないことを確認した後、手を放してください。



本体パネルのふちを手で触れない

パネルを設置・収納する場合は、パネルのふちで手を切らないよう、ご注意ください。



付属の CD-ROM をオーディオ用 CD プレーヤーで使用しない

付属の CD-ROM をオーディオ用 CD プレーヤーでは絶対に使用しないでください。大音量により耳に傷害を与える恐れがあります。また、スピーカを破損する恐れもあります。

お願い

【パネル】

設置場所について

次の場所には設置しないでください。パネルが変形して本来の機能が発揮できなくなります。

・直射日光が当たるような暑い場所
・エアコンの風が直接当る場所。
・熱器具やストーブの近く。
・油煙や湿気の当たるような場所（調理台や加湿器のそば等)。

パネルを傷つけない

パネルを鋭利なもの、硬いものでたたいたり、突き刺したりしないでください。また、パネルを折り曲げたり、しわが付いたまま巻き付けないでください。デジタルペンで読み取れなかったり、誤動作の恐れがあります。

パネルは薬品で拭かない

パネルを、シンナー、ベンジン、アルコール等で拭かないでください。変色したり、パネルを傷めデジタルペンでの読み取りができなくなったり、誤動作の恐れがあります。

マーカー（インク）を使用するとき

必ず付属品の専用マーカーと専用イレーサーを使用してください。その他のマーカーやイレーサーを使用したり、直接手でこすったりするとパネルを傷つけたり、パネルが汚れインクが消えなくなることがあります。

マーカーは必ず、横向きにして保管してください。消えにくくなる場合があります。

専用マーカー（インク）で直接パネルに描いた文字等を長時間放置しない

消えにくくなることがあります。

パネルに粘着テープ等を貼らない

デジタルペンでの入力時に読み取れなかったり、誤動作の恐れがあります。

【その他】

USB ハブで Bluetooth USB アダプタは使用しないでください

パソコンに USB ハブをご使用の場合は、動作の保証をいたしかねます。

次ページに続く

CD-ROM の取り扱い

ラベルが印刷されていない面（データ記録面）には触れないでください。記録面が汚れると正常にデータが読み取れなくなります。また CD-ROM に紙やシールなどを貼らないでください。
長時間直射日光の当たる所や暖房機器の近くに置いたり、落としたり、曲げたりしないでください。CD-ROM が変形しデータが読み取れなくなります。

お手入れについて

パネルには座標検出用のドットが印刷されています。パネル表面が汚れるとデジタルペンでの入力時に読み取れなかったり、誤動作の恐れがあります。
次のお手入れを定期的に行ってください。

パネルの清掃

パネル表面の清掃はボード面（壁面）に取り付けた状態で行ってください。床に置いて清掃すると床のほこりやゴミがパネル裏面の磁気層に付着して取り付け面との密着力が低下し落下しやすくなります。
パネルが汚れたときは、よく絞った布で水拭きしてください。清掃後パネルが完全に乾いてからお使いください。
汚れのひどいイレーサーや、ウェットティッシュ、OA クリーナー、中性洗剤等は使用しないでください。
マグネットタイプのパネル裏面の清掃は押さえバーに少しずつ巻き取りながらゴミやほこりを取り除いてください。このとき、しわにならないように巻き取ってください。

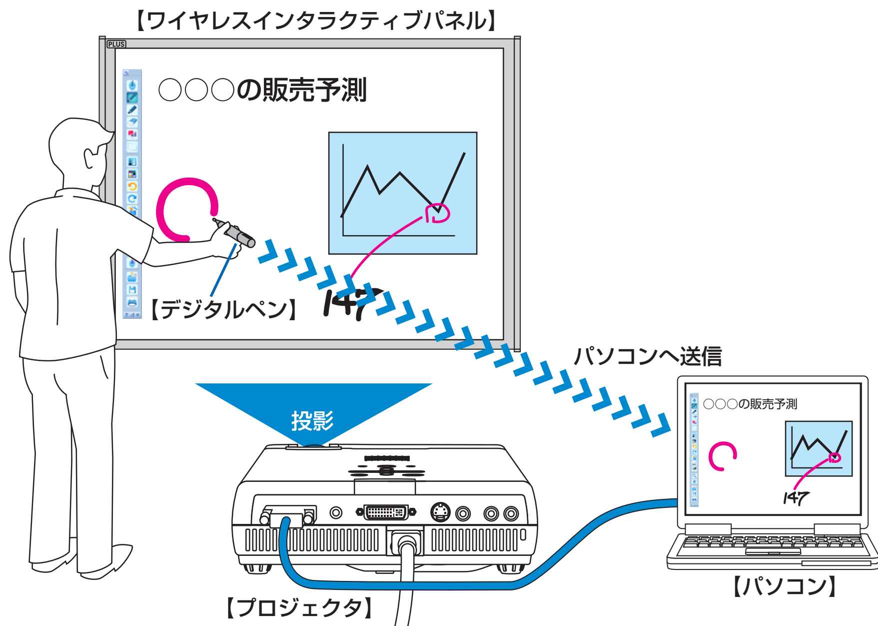
イレーサーについて

イレーサーの消去面が汚れたら、新しいイレーサーをご購入ください。
イレーサーを汚れたまま使用しますとパネル面が汚くなり、パネルの汚れが取りにくくなります。

ワイヤレスインタラクティブパネルとは

ワイヤレスインタラクティブパネルを使うには、パソコンとプロジェクタが必要です。パソコンとプロジェクタ、筆記具にデジタルペンADP-301※1を使い、あたかもパネルに文字や図形を描いているように表示するシステムがワイヤレスインタラクティブパネルです。ワイヤレスインタラクティブパネルを使って、会議や講演・教育分野などで効果的なプレゼンテーションができます。

※1「デジタルペン ADP-301」を本書ではデジタルペンと略します。



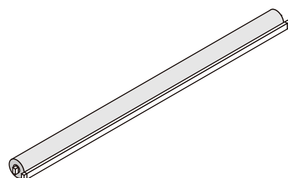
入／出力および画像処理・保存・印刷をパソコンで行い、パネルに描いている文字や図形はデジタルペンに内蔵しているBluetoothという無線方式を使ってリアルタイムにパソコンへ送信し、表示機器のプロジェクタからパネルに再投影します。
このため、パネルに直接描いているように見えます。

- パネルに投影しているパソコンの画像（背景）と描いた文字や図形および貼り付けた画像は背景と合成して保存すること、ホワイトスクリーンモードに切り替えることにより背景を除いた画像も保存することもできます。このため、保存データの再利用や配布が簡単に行えます。
- 付属のマーカー（インク）を使用すれば通常のホワイトボードとしても利用できます。このためホワイトボードに取り付けて本システムを使用している場合は、ワイヤレスインタラクティブパネルを外さなくても通常のホワイトボードとしてご利用いただけます※2。

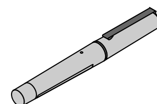
  ※2 マーカー（インク）で描いた文字や図形はパソコンに保存したり投影することはできません。
  付属のイレーサーで消してください。
- 本製品には別売品として拡張ボタンを追加したコマンドシート（移動可能）を用意しています。コマンドシートを使うとUPIC Touch&Drawのツールバーを最小化した状態でも操作ができます。
- 別売品のデジタルペンを追加することにより、デジタルペンで交互の使用が可能となります。また各々線の色や太さを変えて描画することもできます。

製品の梱包内容

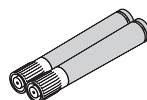
- **本体パネル：1 ユニット**
  座標が印刷されたシート型パネルです。マグネットタイプ（M）は、丸めて保管や持ち運びができます。



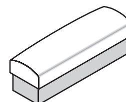
- **デジタルペン（型名 DP-301）：1 セット**
  （予備スタイラス：1 本、単 4 アルカリ乾電池：1 本）
  UPIC Touch&Draw※を使って、電子的に文字や図形を描いたり無線でパソコンを操作します。
  ※ ワイヤレスインタラクティブパネルのアプリケーションソフトウェアを本書では「UPIC Touch&Draw」（タッチアンドドロー）または「本ソフト」と言います。



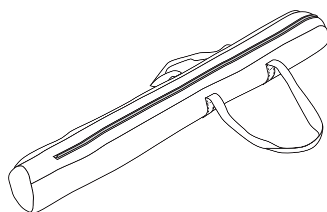
- **専用マーカー（黒・赤：各 1 本）**
  本システムをホワイトボードとして使う場合、この専用マーカー（インク）でパネルに直接描画します。



- **イレーサー：1 個**
  ホワイトボードに専用マーカー（インク）で直接描いた描画を消すときに使います。



- **専用キャリングケース：1 個**
  本体パネル、付属品を収納して 持ち運ぶことができます。
  ※本体パネルは、必ず紙管 (紙筒) に入れて保管してください。



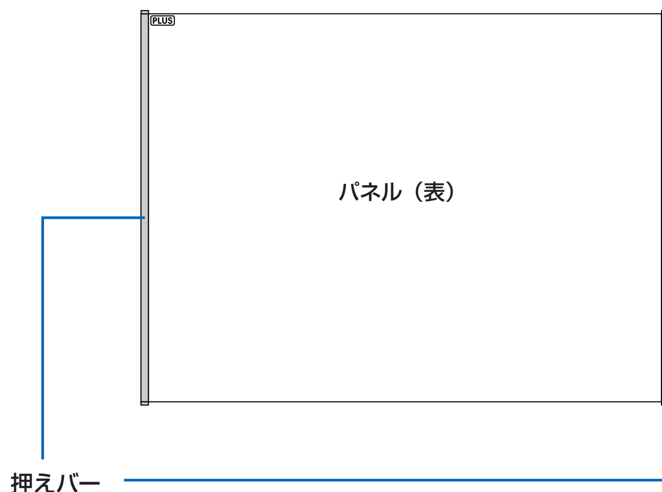
● 書類

- **システム取扱説明書（簡易版）：1 冊**
  安全に使用するために守っていただきたいこと、本システムの主な使いかたを抜粋して書かれています。
  本システムの設置方法、および付属 CD-ROM に収録されているデジタルペンのドライバ「UPIC ユーティリティ」と UPIC Touch&Draw のインストール方法が書かれています。
- **デジタルペン取扱説明書：1 部**
  安全に使用するために守っていただきたいことが書かれています。
- **CD-ROM：1 枚**
  UPIC ユーティリティ、UPIC Touch&Draw、システム取扱説明書［詳細版］（PDF 形式）が収録されています。
- **保証書：1 枚**
- **FAX 登録用紙：1 枚**

各部の名称とはたらき

パネル

ドットパターンの座標が印刷されているパネルです。デジタルペンを使って描画します。プロジェクタを投影するスクリーンとしても使います。



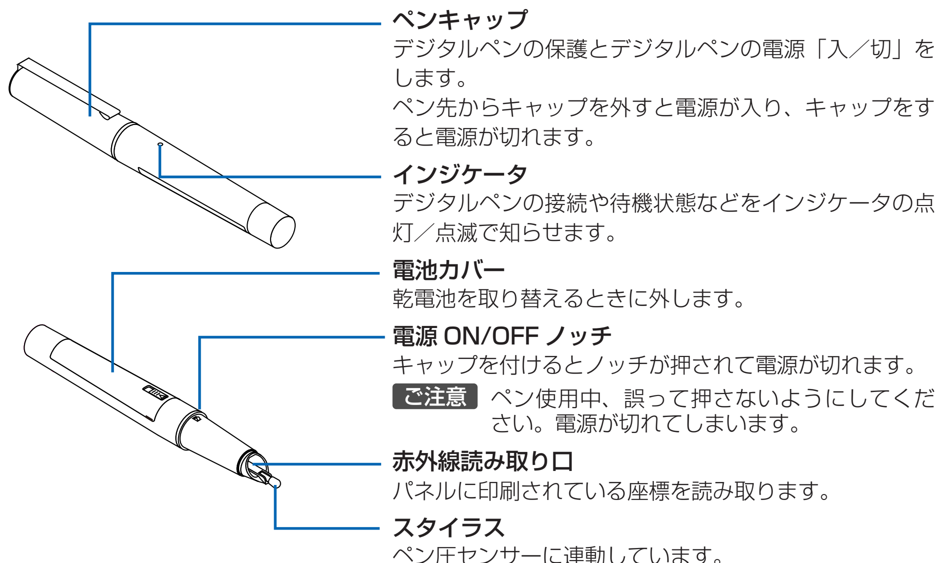
パネル（裏）

裏全面が磁気層のシート構造になっており、市販のホワイトボード（スチール製）および平滑面のスチール製パネルに取り付けます。

※平滑面とは細かな凹凸がない平らな面をいいます。

デジタルペン

パネルに描画する筆記用具です。パネルに描画すると位置やペン圧の情報をリアルタイムでパソコンへ無線で送信します。



●デジタルペンの動作とインジケータの表示

はじめて使用するときはパソコンとデジタルペンのペアリングを行ってください。

※ペアリングとはパソコンとデジタルペンを無線で接続することです。

21 ページ「デジタルペンとパソコンとのペアリング」

1. キャップを外すとデジタルペンの電源が入り（インジケータは点滅）パソコンとの接続を開始します。
2. 接続が終わるとインジケータが消灯しペン入力待ち機状態になります。
   この状態でデジタルペンで描画やクリックが行えます。
3. キャップを付けると電源が切れます。

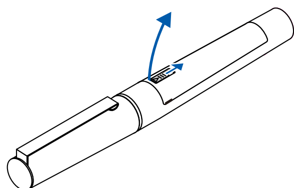
お知らせ

・デジタルペンを正しく登録しているか、デジタルペンとパソコンとの距離（10m 以内）が離れすぎていないか、デジタルペンの乾電池が消耗していないか（ペンのインジケータがゆっくり点滅）をご確認ください。また、乾電池が消耗しているときはパソコンタスクトレイの本ソフトのアイコンが変わります。アイコンをクリックすると表示が出ますのでご確認ください。

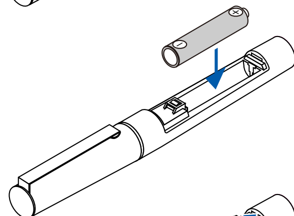
使用上のご注意

・極端に傾けて描画しないでください。正常な座標の読み取りができなくなります。
・デジタルペンのキャップを外したままにしないでください。乾電池が消耗します。
・スタイラスを取り出したまま使用しないでください。動作しなくなります。

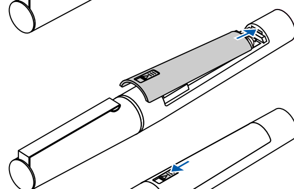
デジタルペン乾電池の入れかた



1. カバーロックを下方へスライドするとロックが外れます。
   電池カバーを開けてください。



2. 古い乾電池を取り出し、新しい乾電池のプラス（+）をペンケース内の表示に合わせて入れます。

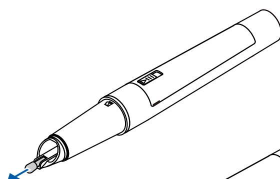


3. カバーのつめをペンケースのみぞに入れてから、電池カバーを閉め、カバーロックを上方へスライドすると、固定されます。

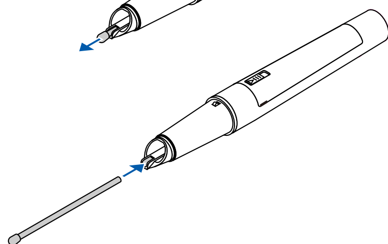
お知らせ
乾電池を交換する場合は市販の単四アルカリ乾電池をお買い求めください。

スタイラスの取り替えかた

スタイラスが摩耗したり、曲がってしまった場合は付属のスタイラスと交換してください。



1. スタイラス（丸いペン先）を持って真っすぐ引き出します。



2. 付属品の新しいスタイラスを真っすぐ止まるところまで差し込みます。

ご注意
極端に消耗したスタイラスを使用すると、正常な座標の読み取りができなくなります。

ワイヤレスインタラクティブパネルを使う前の準備／終了の流れ

お知らせ
・1.2 の手続きが終わっているパソコンをご使用の場合は、手順 3 から準備してください。

1 付属の CD-ROM 内の UPIC ユーティリティと UPIC Touch&Draw をパソコンにインストールする。（18 ページ参照）

2 パソコンにデジタルペンを認識させる（ペアリング）。（21 ページ参照）
※パソコンに Bluetooth が搭載されていない場合は、市販の Bluetooth USB アダプタが必要です。
※複数本のデジタルペンを使う場合は、全てのデジタルペンをパソコンとペアリングしてください。

3 ワイヤレスインタラクティブパネルを設置する。（14 ページ参照）

4 パソコンとプロジェクタを接続する。（25 ページ参照）

5 パソコンとプロジェクタの位置合わせをする。（26 ページ参照）
これで、ワイヤレスインタラクティブパネルが使える状態になります。

6 本ソフトを開く。（28 ページ参照）
パソコンの［スタート］→［すべてのプログラム］→［UPIC］→［UPIC Touch&Draw］をクリックすると立ち上がります。

●使い終わったら

1. 本ソフトを終了する。（29 ページ参照）
2. デジタルペンにキャップをする。
   デジタルペンの電源が切れます。
3. パソコンを終了する。
4. プロジェクタの電源を切る。

●移動や保管をする場合

1. パソコンとプロジェクタの接続を外す。
2. ワイヤレスインタラクティブパネルを収納する。（15 ページ参照）

ワイヤレスインタラクティブパネルの設置

ワイヤレスインタラクティブパネル（以下「パネル」と略します。）の裏面は磁気層です。
力を加えてもたわまない金属面に取り付けてください。下記は参考例です。

・ホワイトボード（スチール製）
・スチール壁やスチール製パネル

パネルの取り付け方

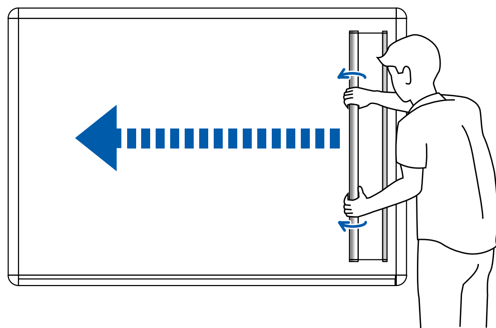
ホワイトボード（スチール製）を例に説明します。
2 人で行うと正しく取り付けることができます。

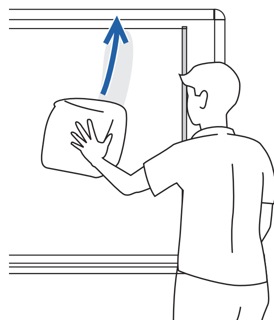
1. 板面を掃除する

パネルを取り付ける前にホワイトボード板面をきれいにふき掃除をしてください。板面にごみやセロハンテープなどの取り残しがあるとパネル面に凹凸が生じます。水拭きした場合は乾燥するまでお待ちください。

2. 板面にパネルを水平に貼り付ける

巻き取っている状態のまま、ホワイトボードのフレーム（左または右辺）に正確に合わせてパネルの端面を密着させます。
そのまま、押さえバーを巻戻しながら左または右へ水平に（空気を抜きながら）貼り付けていきます。貼り付けた後に空気が入っている場合は、布などで静かに掃き出してください。





ご注意

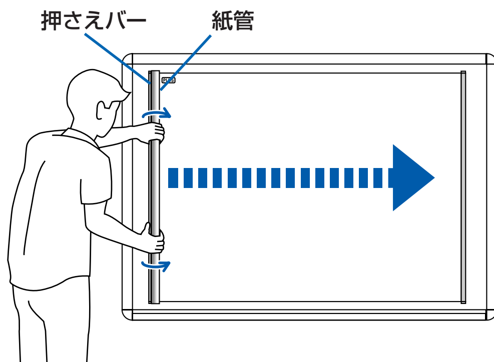
・パネルがはがれないことを確認してください。
・貼り直す場合は、押さえバーに巻き取ってからやり直してください。

パネルの収納

収納の前にパネル表面をきれいに清掃してください。巻き取り時にパネル裏面にほこりやごみなどが付着して、密着力が低下する場合があります。

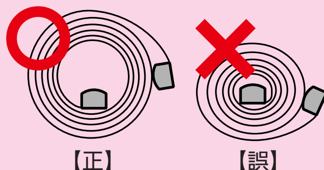
1. パネルを巻き取ります。

梱包時に使用されている紙管に押さえバーを巻き付け、押えバーをボード面に押し付けながら巻きゆるみや斜め巻きが発生しないように巻き込みます。



ご注意

・最後までボード面に押し付ける力を弱めないでください。途中で手を放すとパネルが落下します。
・巻き付けるときはゆるく巻いてください。きつく巻くとパネル面に折れ目が付いたり、巻きぐせが取れにくくなります。



・押さえバーに巻き取ったまま無理に斜め巻きを修正すると、パネルを傷つける恐れがあります。このときは再度パネルを広げてから巻き直してください。
・パネルを広げたまま板面から取り外さないでください。パネルが折れ曲がり、デジタルペンで読み取れなかったり、誤動作の恐れがあります。
・パネルのふちを触れる場合は、手を切らないよう、ご注意ください。

ソフトウェアのインストール

インストールの前に

●動作環境

項目	内容
OS	Windows Vista (32bit バージョン) Windows XP (SP3 以上、32bit バージョン)
Internet Explorer	Ver.6.0 以上
PC	上記 OS が動作するプリインストール機
CPU	Pentium4 以上のプロセッサ
インタフェース	BLUETOOTH 2.0 準拠 クラス 2
メモリ	512 MB 以上
ハードディスク	200 MB 以上
表示	1024 × 768 High Color 以上
周辺機器	Bluetooth アダプタ CD-ROM ドライブ、標準の USB ポート
対応 Bluetooth スタック	Microsoft(R) Bluetooth(R) スタック Broadcom's Widcomm(R) Bluetooth(R) software スタック Toshiba Bluetooth(R) スタック BlueSoleil Bluetooth(R) スタック

ご注意
- 本動作環境で、すべての動作を保証するものではありません。
- Macintosh には対応していません。
- Bluetooth が内蔵されていないパソコンの場合は Bluetooth USB アダプタを接続するための空きポートが必要です。

●UPIC Touch&Draw の動作

UPIC Touch&Draw と UPIC ユーティリティは独立しています。このため起動状態の組み合わせにより動作が次のように異なります。

UPICユーティリティ	ペン接続状態	UPIC Touch&Draw	動作
起動中	接続	起動中	デジタルペンで描画可能
		非起動中	デジタルペンをマウスとして使用可能
	未接続	起動不可	デジタルペンでの操作不可
非起動中	接続	起動不可	デジタルペンでの操作不可
	未接続	起動不可	デジタルペンでの操作不可

●UPIC Touch&Draw の更新について

当社ホームページをご参照ください。

著作権・使用許諾

◆著作権

本ソフトウェアおよび関連著作物の著作権は、プラス株式会社 (以降、弊社) が有し、日本国著作権法及び国際条約により保護されています。

◆免責・保証範囲

本ソフトウェアおよび関連ソフトウェアによる生成物が、直接または間接的に損害を生じたとしても、弊社は一切の責任を負いません。また、機器や媒体が原因の損害にたいしても、弊社は一切の責任を負いません。

さらに、弊社は本ソフトウェアを使用した結果の影響に関しても、一切の責任を負わないものとします。

◆使用条件および配布条件

- 弊社は本ソフトウェアの使用または使用不能によって生じたあらゆる損害について、いかなる責任も負いません。
- 弊社は本ソフトウェアについてのサポート、あらゆる種類の保証、障害の修正やバージョンアップの継続等のいかなる義務も負いません。
- 以上に同意する限り、非営利目的での個人利用、社内利用は自由です。
- ここにいう「本ソフトウェア」とは実行ファイルだけでなく、ヘルプや添付文書も含むすべての構成ファイルのことです。

◆サポート

質問、要望、障害報告等の声に応えたり、各種の情報提供を行うのを一括してサポートと呼ぶこととし、弊社のサポートの範囲は、本ソフトウェアの機能、操作に限らせていただきます。

本ソフトウェアをご利用される上で生じる問題は、パソコン本体に起因するもの、OSに起因するもの、他のアプリケーションソフトウェアに起因するもの、その他周辺機器に起因するものなど多岐にわたります。よって弊社は、本ソフトウェアに起因する問題のみをサポートするものとします。また、本ソフトウェアは、ハードウェアやソフトウェアの技術的進歩により事前の予告なしにバージョンアップすることがあります。お客様は弊社が定める方法により、本ソフトウェアのバージョンアップ品を受取り、使用することができます。なお、バージョンアップは上記使用条件に同意されたお客様にのみに限られます。

※本ソフトウェアをホームページからダウンロード、または CD-ROM からインストールしたときをもって、お客様は各条項に同意したものとみなされます。

UPIC ユーティリティ・UPIC Touch&Draw のインストール

付属 CD-ROM のメニューから［ソフトウェアのインストール］を選択すると「UPIC ユーティリティ」と「UPIC Touch&Draw」がインストールされます。

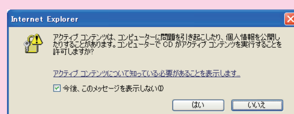
●インストールの前のご確認

1. 使用するパソコンが動作条件を満たしているか確認してください。
2. インストールの際は、「コンピュータの管理者」の権限（アカウント）でインストールしてください。
3. 実行中の他のアプリケーションを全て終了してください。

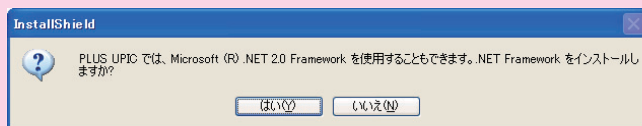
● UPIC ユーティリティと UPIC Touch&Draw のインストール

インストール時のご注意

・ 使用しているパソコンの環境により、「アクティブコンテンツの実行を許可しますか？」の確認画面が表示された場合は、[はい] を選択して、次に進んでください。
注）セキュリティの警告が表示される場合がありますが、これも [実行] を選択して次の操作に進んでください。



・Microsoft Windows XP を使用しているパソコンで初めて付属の CD-ROM をインストールする際、下記のメッセージが表示される場合があります。



必ず [はい（Y）] を選択して「Microsoft® .NET 2.0 Framework」をインストールしてください。
[いいえ（N）] を選択した場合、正しくインストールされない事があります。

---

1 **付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入します。**
自動的にメニュー画面が表示されます。
自動で表示されない場合は、CD-ROM を開き「autorun.exe」をダブルクリックしてください。

---

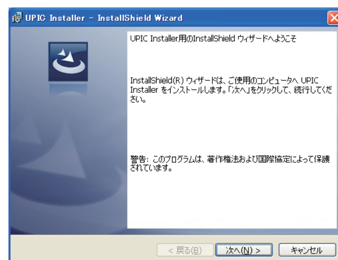
2 **「ソフトウェアのインストール」をクリックする。**
インストーラが立ち上がります。

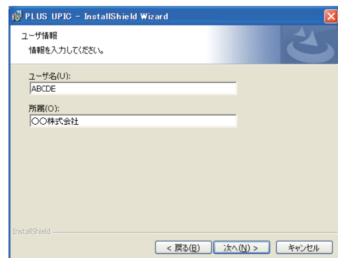


次ページに続く

3 インストーラの指示に従ってインストールを行います。

「UPIC ユーティリティ」と「UPIC Touch&Draw」が同時にインストールされます。





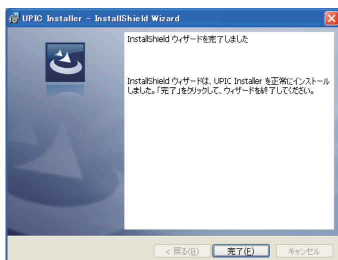
・「ユーザー情報」ダイアログが表示されます。表示の内容でよければ［次へ (N)>］をクリックしてインストールを続けてください。

お知らせ

※ Windows Vista の場合はユーザーアカウント制御ダイアログが表示されます。「許可 (A)」を選択してインストールを続けてください。

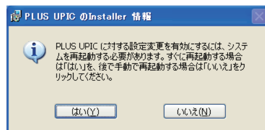
4 「完了」をクリックします。

「インストーラ情報ダイアログ」が表示されます。



「はい（Y)」をクリックし、パソコンを再起動してください。

これで、インストールが終わりました。



続けて、デジタルペンとパソコンとのペアリング操作を行ってください。（21 ページ参照）

UPICユーティリティおよびUPICアプリケーションのアンインストール

1 **［スタート］→［コントロールパネル］をクリックするとコントロールパネル画面が表示されます。**

・デジタルペンにキャップをして電源が切れていることを確認してください。
・UPIC Touch&Draw が終了していることを確認してください。

2 **「プログラムのアンインストール」をクリックします。**

※ Windows XP は「プログラムの追加と削除」のアイコンが表示されます。

3 **「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示されます。**

※ Windows XP は「プログラムの追加と削除」のアイコンが表示されます。

4 **一覧表示の中から「PLUS UPIC」をクリックします。**

5 **Windows Vista の場合は［削除］※をクリックします。**

Windows XP のときは［削除］クリックします。

6 **画面の指示にしたがって操作を進めます。**

お知らせ

※ Windows Vista の場合はアンインストーラを起動する度にユーザーアカウント制御ダイアログが表示されます。「許可 (A)」を選択してアンインストールを続けてください。

デジタルペンとパソコンとのペアリング

デジタルペンはBluetoothデバイス（装置）です。パソコンがデジタルペンを認識しないと相互の通信ができません。
ここでは、Windows搭載のBluetoothスタックを使ったペアリング※を説明します。
※デジタルペンとパソコンを無線通信で接続する操作がペアリングです。説明書では接続と呼ぶこともあります。

ご注意
- 複数の Bluetooth デバイスを使用した場合、動作が不安定になることがあります。
- Bluetooth 内蔵のパソコンを使用する場合は、市販の Bluetooth アダプタを使用しないでください。使用する際は、内蔵 Bluetooth を停止させてください。停止方法はパソコンメーカへお問い合わせください。
- デジタルペンは同時接続できますが、ご使用の環境 (パソコン / 電波状況等) により操作できない場合があります。

パソコンに Bluetooth デバイスが内蔵されていない場合は、市販の Bluetooth USB アダプタをお使いください。また、ペアリングはお買い求めの Bluetooth USB アダプタの取扱説明書をご覧ください。このとき、デジタルペンのパスキーは、「0000」を入力してください。

お知らせ
デジタルペンと接続可能な Bluetooth USB アダプタについては弊社ホームページをご覧ください。
なお、HID（Human Interface Device）のプロファイルをサポートしている Bluetooth USB アダプタをお使いください。

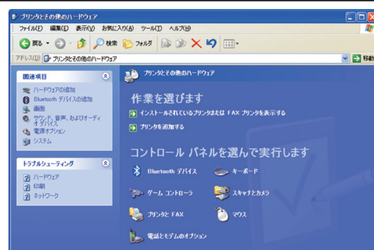
Windows XP での登録

準備：1. Bluetooth（パソコン内蔵または市販のUSBアダプタ）が機能する状態にします。
2. **デジタルペンのキャップを外します。電源が入りインジケータが点滅します。**

1 **[スタート]→[コントロールパネル]をクリックしてコントロールパネルを開き、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックする。**
「プリンタとその他のハードウェア」画面を表示します。

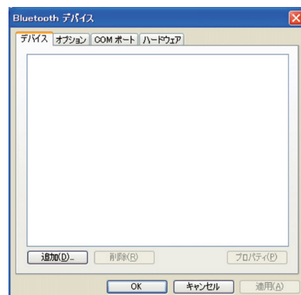


2 **[Bluetoothデバイス]をクリックする。**
「Bluetoothデバイス」画面を表示します。



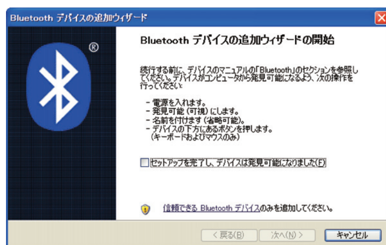
3 [追加]をクリックする。

「Bluetoothデバイスの追加ウイザード」画面を表示します。



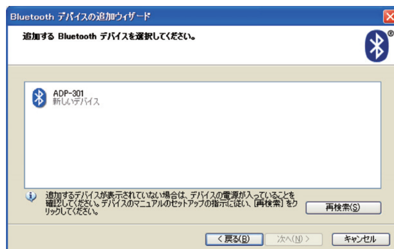
4 「セットアップを完了し、デバイスは発見可能になりました」のチェックボックスにチェックを入れ(クリック)てから[次へ(N)>]ボタンをクリックする。

追加ウイザードの次の画面に変わります。



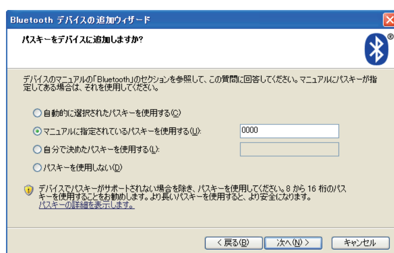
5 「ADP-301B」をクリックして[次へ(N)>]ボタンをクリックする。

追加ウイザードの次の画面に変わります。

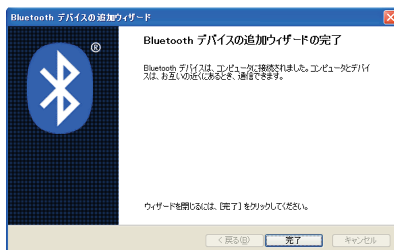


6 「マニュアルに指定されているパスキーを使用する(U)」のラジオボタンを選択し(クリック)、パスキー 「0000」を入力してから、[次へ(N)>]ボタンをクリックする。

追加ウイザードの次の画面に変わります。



7 [完了]ボタンをクリックする。



次ページに続く

8 デジタルペンにキャップを付ける

デジタルペンの電源が切れます。

複数本のデジタルペンを登録する場合はこの手順を繰り返します。なお、このときのパスキーは、「0000」を入力してください。

これで、デジタルペンのキャップを外すと自動でパソコンと接続し、ペン入力待ち状態になります。

Windows Vista での登録

準備: 1. Bluetooth(パソコン内蔵または市販のUSBアダプタ)が機能する状態にします。
2. **デジタルペンのキャップを外します。電源が入りインジケータが点滅します。**

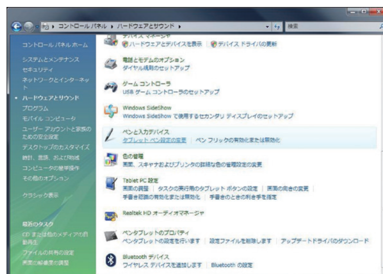
1 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックしてコントロールパネルを開き、[ハードウェアとサウンド]をクリックする。

「ハードウェアとサウンド」画面を表示します。



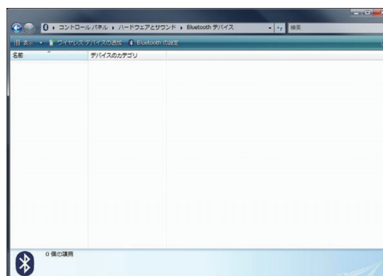
2 「Bluetoothデバイス」をクリックする。

「Bluetoothデバイス」画面を表示します。



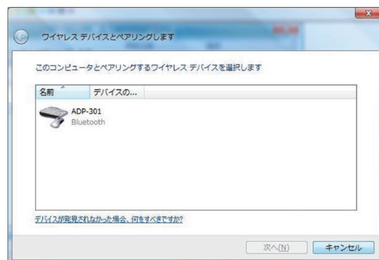
3 [ワイヤレスデバイスの追加]をクリックする。

「ワイヤレスデバイスとの選択」画面を表示します。



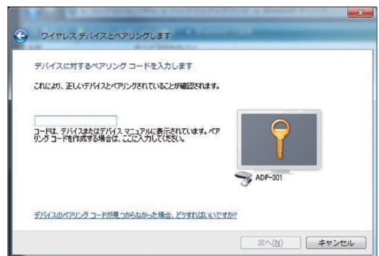
4 「ADP-301B」をクリックし、[次へ(N)>]ボタンをクリックする。

次の画面に変わります。

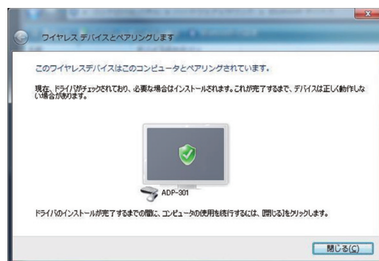


5 パスキー「0000」を入力してから、[次へ(N)>]ボタンをクリックする。

次の画面に変わります。



6 [閉じる(C)]ボタンをクリックする。



7 デジタルペンにキャップを付ける。

デジタルペンの電源が切れます。

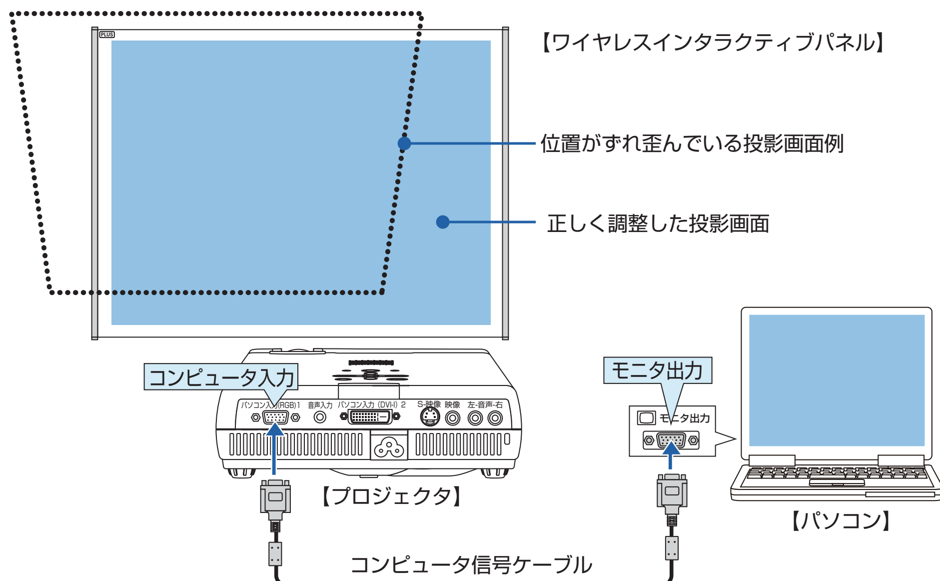
複数本のデジタルペンを登録する場合はこの手順を繰り返します。なお、このときのパスキーは、「0000」を入力してください。

これで、デジタルペンのキャップを外すと自動でパソコンと接続し、ペン入力待ち状態になります。

パソコンとプロジェクタとの接続

本システムを使うにはパソコンとプロジェクタとを接続してください。

1. **プロジェクタを目的の場所に設置する。**
   プロジェクタの設置に関する注意事項などはプロジェクタの取扱説明書をご覧ください。
   プロジェクタの電源が切れていることをご確認ください。
2. **パソコンのモニタ端子とプロジェクタのコンピュータ入力端子をコンピュータ信号ケーブルで接続する。**
   パソコンの電源が切れていることをご確認ください。
3. **プロジェクタの電源を入れ、パソコンを立ち上げます。**
   しばらくすると（プロジェクタによって異なりますが約 30 秒）パソコンの画面がプロジェクタから投影されます。
   ・プロジェクタ側の入力切替が接続しているパソコンを選択しているか確認してください。
   ・ノートパソコンの画面がプロジェクタから投影しない場合やノートパソコンの画面が消えた場合は、パソコンの外部出力の設定を変えてください。
   Windows の場合は通常ファンクションキーの［Fn］を押しながら［F1］～［F12］のいずれかのボタンを押して切り替えます。［F1］～［F12］はパソコンのメーカーによって異なります。
   詳しくはお使いのパソコンのヘルプをご覧ください。
4. **プロジェクタの投影画面の位置や大きさ、画面のひずみを調整する。**
   ワイヤレスインタラクティブパネルに収まる位置に設置合わせし、画面が歪んでいる場合はプロジェクタの台形補正機能（垂直／水平）を使って正しく調整してください。
   ・UPIC Touch&Draw はパネルと投影画面との位置合わせ機能があります。投影画面が歪んでいると正しく位置合わせを行うことができなくなります。



UPIC ユーティリティの起動

プロジェクタとの位置合わせ

UPIC Touch&Draw を起動する前にパソコンとプロジェクタとの位置合わせを行います（UPIC ユーティリティ）。この位置合わせはパソコンがデジタルペンとの接続を検出すると位置合わせパターンを自動で表示します。
接続検出方法を変更する場合は「位置合わせ設定の変更」27 ページをご覧ください。

確認： 1. プロジェクタとパソコンを接続し、パソコンの画面がスクリーンに投影されていることを確認してください。（25 ページ参照）
2. Windows 画面のタスクトレイに UPIC ユーティリティのアイコンを表示していることをご確認ください。表示していない場合は、［スタート］→［すべてのプログラム］→［UPIC］→［UPIC ユーティリティ］をマウスでクリックすると表示（起動）します。

ご注意
・プロジェクタの投影画面はワイヤレスインタラクティブパネルに収まる位置に位置合わせしてください。
・プロジェクタ側の入力選択は接続しているパソコンを選択してください。

・デジタルペンはキャップを外した状態で約７分間使用しないと、自動的にデジタルペンの電源が切れます。使用するときは、一度キャップをデジタルペンにはめてから、再びキャップを外してください。

---

1 デジタルペンのキャップを外します。

デジタルペンのインジケータが点滅します。点灯しているときは、パソコンとのペアリング（接続）ができていません。（21 ページ参照）

パソコンがデジタルペンとの接続を検出するとワイヤレスインタラクティブパネルに位置合わせパターンが表示され、左上のパターンが点滅します。

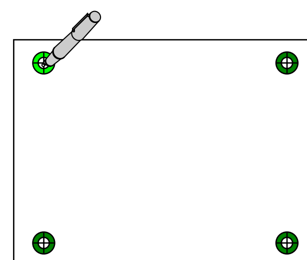
ご注意 デジタルペンのキャップをすると中止されますのでご注意ください。



---

2 パソコンとプロジェクタの位置合わせをします。

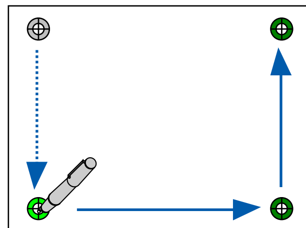
点滅しているパターンを順にデジタルペンを使用して十字パターンの中心に正しくタッチしてください。四隅のタッチが終了するとパターンが消えます。



次ページに続く

・タッチするごとに点滅が左上→左下→右下→右上の順に変わりタッチ済みのパターンはグレイに変わります。

これで、位置合わせは終了しました。
続けて UPIC Touch&Draw を立ち上げてください。（28 ページ参照）



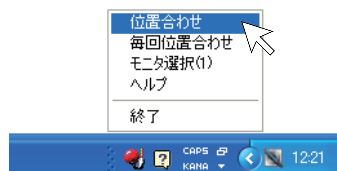
位置合わせ設定の変更

接続検出方法を変更する場合、プロジェクタを移動してしまったとき、プロジェクタの投影画面の大きさを変えてしまったときに行ってください。

1　パソコンタスクトレイの UPIC ユーティリティのアイコンをマウスで右クリックするとポップアップメニューを表示します。



2　メニューの中から目的の項目を選択して設定変更および位置合わせを行います。



位置合わせ	位置合わせが実行されていない場合は、位置合わせパターンを表示します。位置合わせの方法は 26 ページをご覧ください。（初期設定）
毎回位置合わせ	デジタルペンの接続を検出すると位置合わせパターンを表示します。 位置合わせ動作設定のチェックボタンのON/OFFで動作が変わります。 ON（初期設定）　：毎回位置合わせを実行する
モニタ選択	プロジェクタに接続されているモニタ番号の選択画面を表示します。 モニタ選択 ディスプレイ1　OK　キャンセル ・プロジェクタに接続しているモニタ番号を選択します。 初期設定は「ディスプレイ 1」で検索します。
ヘルプ	UPIC ユーティリティのヘルプを表示します。
終了	UPIC ユーティリティを終了します。 終了すると、UPIC Touch&Draw は起動できなくなります。

UPIC Touch&Draw の起動／終了

UPIC Touch&Draw の起動

1 **UPIC Touch&Draw を起動します。**

本ソフトの起動は 3 つの方法があります。

・パソコンの［スタート］→［すべてのプログラム］→［UPIC］→［UPIC Touch&Draw］をクリックすると立ち上がります。



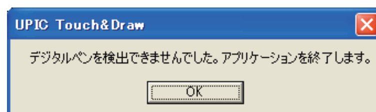
・Windows ディスクトップにある「本ソフト」の アイコンをダブルクリックすると、UPIC Touch&Draw が立ち上がります。



・本ソフトの［保存］で保存したファイル（拡張子 .tad）をダブルクリックすると、UPIC Touch&Draw が立ち上がります。

お知らせ

・デジタルペンとの接続ができない場合は「デジタルペンを検出できませんでした。アプリケーションを終了します。」のメッセージ画面を表示します。
［OK］をクリックしてメッセージを閉じます。デジタルペンを接続してから、もう一度 UPIC Touch&Draw を起動してください。
21 ページ「デジタルペンとパソコンとのペアリング」をご覧ください。



UPIC Touch&Draw の終了

1 **UPIC Touch&Draw 画面のツールバーの ☒ [閉じる] をクリックします。**

パネルの投影画面で操作する場合は、ツールバーの ☒ [閉じる] をクリックしてください。

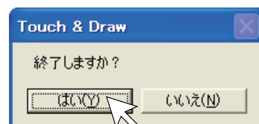


2 **UPIC Touch&Draw を終了し、「終了確認」画面を表示します。**

未保存データがない場合とある場合で画面の表示が異なります。

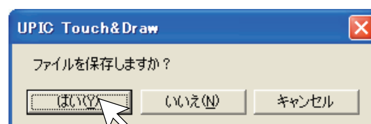
未保存データがない場合：

[はい]　UPIC Touch&Draw を終了します。
[いいえ] 終了をキャンセルします。



未保存データがある場合：

[はい]　Windows の「名前を付けて保存」画面を表示します。保存終了後に UPIC Touch&Draw を終了します。
[いいえ] 保存しないで UPIC Touch&Draw を終了します。
[キャンセル] 終了をキャンセルします。

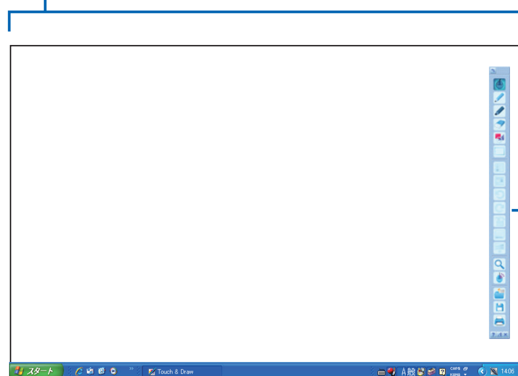


3 **デジタルペンにキャップをします。**

UPIC Touch&Draw各部の名称とはたらき

投影画面（パソコン画面）

描画エリア
デジタルペンでの描画や図形、読み込み画像を表示します。



タスクトレイ

UPIC ユーティリティ アイコン
右クリックでポップアップメニューを表示します。
位置合わせ、毎回位置合わせ、モニタ選択、終了　（27 ページ参照）
（ の時）：
アイコンを左クリックするとデジタルペンの電池残量が低下していることをポップアップメニューで表示します。

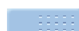
ツールバー
UPIC Touch&Draw の各機能の選択や設定などを行います。詳細は31 ページ

モードによって選択できない項目があります。選択できない項目は薄い表示になります。



ツールバー

 **メニュー配置**　クリックするごとにメニューバーを横配置・縦配置に切り替えます。

 **メニュー移動**　お好みの位置へドラッグして移動します。

※「マウス」「ペン」「マーカー」「消しゴム」「図形」「オブジェクト選択」はいずれか 1 つが選択できます。複数の選択はできません。この 6 つの機能を入力モードと呼びます。

 **マウス**

入力モードをマウスモードに切り替えます。
パネルに投影されているパソコン画面の操作が行えます。
・マウスモードのときは、ツールバーで選択できないボタンがあります。
・Windows 操作は「マウス」のときのみ操作できます。

●デジタルペンによるマウス動作
ドラッグ：ペン先を押した状態で移動 。
クリック：ペン先を 1 回押す。
ダブルクリック：ペン先を続けて 2 回押す。
右クリック：ペン先を長押し（ポップアップメニューを表示するまで）。

 **ペン**

入力モードを「ペン」に切り替えます。
ペンの太さは「サイズ設定」、ペンの色は「色設定」で行います。

 **マーカー**

入力モードを「マーカー」に切り替えます。
マーカーの太さは「サイズ設定」、マーカーの色は「色設定」で行います。

 **消しゴム**

入力モードを「消しゴム」に切り替えます。
・一部分を消す場合に使います。デジタルペンで描いた文字や線をドラッグしていくと消えます。オブジェクト単位で消去する場合は「オブジェクト編集」の［削除］を使います。
・消しゴムの太さは「サイズ設定」で行います。
・図形と画像は消すことができません。

 **図形**

「図形メニュー」画面を表示します。（34 ページ参照）
目的の図形アイコンをクリックし、デジタルペンをドラッグして図形を描きます。
・図形の色は［色設定］、線の太さは［サイズ設定］で行います。
・「図形メニュー」画面を閉じるには、ツールバーの［図形］をクリックします。

 **オブジェクト選択**

入力モードを「オブジェクト選択」に切り替えます。（35 ページ参照）
オブジェクトをクリックして選択し移動などを行います。

 **サイズ設定**

「サイズ設定メニュー」画面を表示します。現在の入力モード（ペン・マーカー・消しゴム・図形）の太さの選択です。
入力モードが「マウス」、「オブジェクト選択」時は選択できません。


【ペン、マーカー、図形選択時】


【消しゴム選択時】



色設定

「色設定メニュー」画面を表示します。現在の入力モード（ペン･マーカー･図形）の色選択です。
入力モードが消しゴム、マウス、オブジェクト選択モード時は選択できません。



お知らせ

複数本のデジタルペンを使用するとき
- 本ソフトを起動中、デジタルペンは個別に［サイズ設定］（太さ）および［色設定］（色）を選択することができます。
- 本ソフトを起動時、最初に認識したデジタルペン（1 本のみ）の太さと色は本ソフトを終了しても記憶しています。
- 複数本の使用時は、交互での操作ができます。
- 色設定は、自動割当されます。
- 入力モードを変更すると、すべてのペンに反映されます。ただし、ペンとマーカは除きます。



元に戻す（Undo）

描画または編集した内容を直前の操作から順に最大 100 回まで戻します。



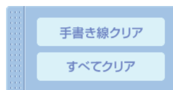
やり直し（Redo）

「元に戻す」で戻した操作を順に再び実行します。



消去

「消去メニュー」画面を表示します。消去後は閉じます。
※キャンセルする場合は、メニュー以外のところをクリックしてください。「消去メニュー」が閉じます。



手書き線クリア：デジタルペンで描いた文字・線がクリアされます。
すべてクリア：図の挿入で取り込んだ画像も含めて全てクリアされます。
※目的のオブジェクトのみ消去（削除）する場合は「オブジェクト編集のしかた」をご覧ください。（36 ページ参照）



表示モード

［表示モード］をクリックするごとに「ホワイトスクリーン」「透明スクリーン」が切り替わります。
「透明スクリーン」モード時：背景にパソコン画面が表示されます。
他のアプリケーションを表示して、デジタルペンで追記することができます。
「ホワイトスクリーン」モード時：背景が罫線の入った白画面になります。



図の挿入

Windows の「ファイルを開く」画面を表示します。挿入できる画像は JPEG, BMP, PNG, TIFF. GIF 形式が挿入できます。（41 ページ参照）
・ 図は移動・拡大／縮小・回転（図形と画像）ができます。
※描画エリアより画像が大きい場合は、自動で縦横比を維持したまま縮小します。



ズーム

描画エリアの画面を拡大率を設定します。
［ズーム］をクリックするごとに　200%→ 300%→ 400%→ 100% とくり返します。（37 ページ参照）



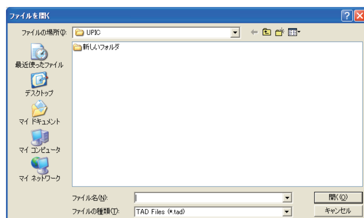
右クリック

［右クリック］をクリックするとWindowsのマウスの右クリックの動作に変ります。
操作例は36ページ「オブジェクト編集のしかた」の手順5を参照。



開く

Windowsの「ファイルを開く」画面を表示します。保存している本ソフトで作成したファイル（.tad）を開きます。
※ TAD（.tad）以外で保存した画像ファイルは開けません。





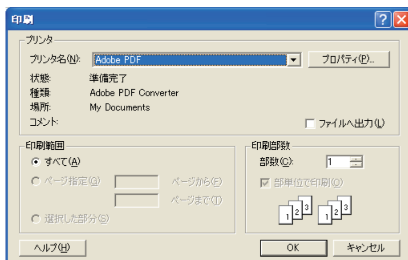
保存

Windowsの「名前を付けて保存」画面を表示します。描画エリアのデータを保存します。（42ページ参照）
ファイルの種類は「.jpg（JPEG形式）」「.bmp（BMP形式）」「.png（PNG形式）」「.tif（TIFF形式）」「.tad（TAD形式）」が選択できます。
ファイル名は「製品名＋日付＋連番.xxx」を自動入力されます（xxxはファイル形式の拡張子）。
※ .tad(TAD形式)は［開く］で開いて本ソフトで編集ができます（TADは本ソフト独自のファイル形式です）。
　表示モード［ホワイトスクリーン］の時のみ選択できます。
※「.jpg」「.bmp」「.png」「.tif」は画像データとして他のアプリケーションに取り込みが可能です。



印刷

Windowsの「印刷」画面を開きます。



印刷画面で必要項目を選択します。Windowsの説明書をご覧ください。
［表示モード］が透明スクリーンの場合はWindowsの画面背景と、描画エリアのデータを合成して印刷します。
ホワイトスクリーンの場合は描画エリアのデータを印刷します。



ヘルプ

ヘルプを表示します。



最小化

ツールバーを閉じてタスクバーに最小化アイコンを置きます。クリックすると元の状態で表示されます。



閉じる

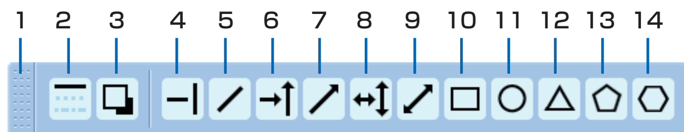
UPIC Touch&Drawを終了し、「終了確認」画面を表示します。（29ページ参照）

図形の書き方

例：実線で四角の枠線を書きます。

1 **[図形] をクリックします。**

「図形メニュー」画面を表示します。



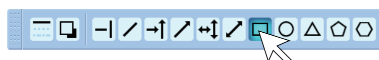
1	図形メニューの移動：ツールバーを最小化しているときにドラッグして移動できます。	4	図形を水平、垂直線に設定(初期値)
		5	図形を直線に設定
		6	図形を垂直水平矢印に設定
2	線種の選択：クリックするごとに 点線→一点鎖線→実線 とくり返す。(初期値：実線)	7	図形を矢印に設定
		8	図形を垂直水平両矢印に設定
		9	図形を両矢印に設定
3	塗りつぶしの選択：クリックするごとに塗りつぶし有り→塗りつぶしなし をくり返す。(初期値：塗りつぶしなし)	10	図形を四角に設定
		11	図形を楕円に設定
		12	図形を正三角形に設定
		13	図形を正五角形に設定
		14	図形を正六角形に設定

お知らせ

・[線種の選択] をクリックすると 4 ～ 14 の線種も対応して表示が変わります。
・[塗りつぶし] をクリックすると塗りつぶしアイコンに変わり、10 ～ 14 のアイコンも塗りつぶし表示に変わります。

2 **四角アイコンをクリックします。**

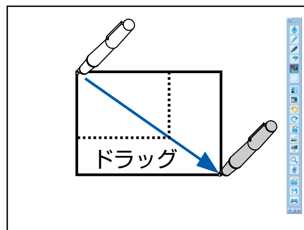
・色を変える場合は、「色設定メニュー」画面で色を選択してください。
・線の太さを変える場合は、「サイズ設定メニュー」画面で線の太さを選択してください。



3 **始点から終点までドラッグします。**

ドラッグすると開始位置からペンに追従して点線で図形が描かれます。ペンを上げると図形が確定されます。このため、ドラッグ中に曲がってしまっても気にする必要はありません。

・「図形メニュー」画面表示中は続けて他の図形選択ができます。
・「図形メニュー」画面または、ツールバーの［図形］をクリックすると「図形メニュー」画面は閉じます。
・文字を書くときは［ペン］または［マーカー］をクリックしてから描画してください。



オブジェクトの移動と拡大／縮小・回転のしかた

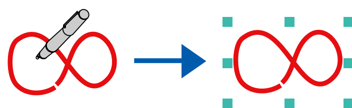
デジタルペンで描いた文字や線、図形で描いた線や図、挿入画像をオブジェクトと呼びます。

1 **[オブジェクト選択]をクリックします。**

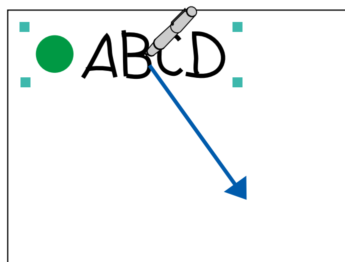
オブジェクトが選択できる状態になります。

2 **オブジェクトを選択する。**

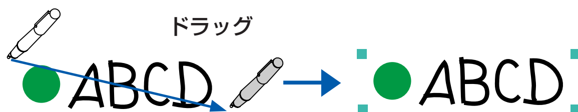
オブジェクトをクリックするとフレームを表示します。
オブジェクト以外をクリックするとフレームの表示は消えます。



水平ポイント	オブジェクトを左右方向に拡大／縮小
垂直ポイント	オブジェクトを上下方向に拡大／縮小
等比ポイント	オブジェクトを等比で拡大／縮小
回転ポイント	オブジェクトを回転させる（図形と画像が回転できます）



複数のオブジェクトを選択するときは、目的のオブジェクトを含むようにドラッグします。等比拡大のみできます。



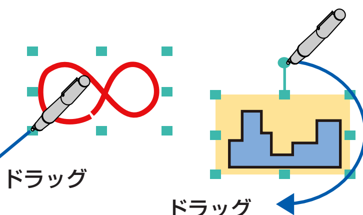
3 **オブジェクトを移動する**

フレームを表示している状態で、フレーム内（ポイント以外）をドラッグして移動させます。
オブジェクトの一辺が選択可能な位置まで移動できます（描画エリアから完全に隠れる位置までの移動はできません）。

4 **拡大／縮小・回転をする**

フレームを表示している状態で、目的のポイントをドラッグして行います。
ポイントにカーソルが当たるとカーソルの形状が変わります。

・複数のオブジェクトを選択しているとき、拡大／縮小はできますが回転はできません。



オブジェクト編集のしかた

個別にオブジェクトの削除や複製および自動複製が行えます。

例　オブジェクトをコピーしてペースト（複製）します。

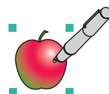
1 **[オブジェクト選択]をクリックします。**

オブジェクトが選択できる状態になります。

2 **編集するオブジェクトを選択する。**

オブジェクトをクリックするとフレームを表示します。

・複数のオブジェクトを選択するときは、目的のオブジェクトを含むようにドラッグします。



3 **オブジェクト内で「編集メニュー」を表示するまで長押しする。**

「編集メニュー」が表示されます。

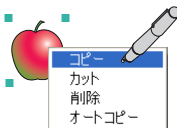
・ツールバーの［右クリック］を使っても「編集メニュー」を表示させることができます。このときは、オブジェクト内をクリックすると「編集メニュー」を表示します。



4 **［コピー］をクリックする。**

オブジェクトがコピーされて「編集メニュー」の表示が閉じます。

・［オートコピー］をクリックするとクリックの位置に自動でペーストされます。（手順５の操作は不要です。）



5 **目的の位置で長押しする。**

コピーしたオブジェクトがペーストされます。

・手順４で「カット」をクリックした場合もペーストされます。

・ツールバーの［右クリック］使用している場合は、目的の位置をクリックするとペーストされます。

・位置の調整は前ページをご覧ください。

・つづけて同じオブジェクトをペーストするには再び長押しします（［右クリック］使用時はクリックします）。



編集メニューの選択名と動作

コピー	オブジェクトを一時的に記憶します。
カット	オブジェクトをカット（消去）します。（オブジェクトは一時的に記憶します）
削除	オブジェクトを削除します。（オブジェクトの記憶はしません。）
オートコピー	オブジェクトを自動でコピー&ペーストします。

※編集メニューのオブジェクトの記憶は前回のオブジェクトに上書きされます。

拡大表示（ズーム）と描画エリアの移動（パン）のしかた

表示を拡大し、表示位置を移動させることができます。
クリック位置を中心に拡大されます。描画エリアの外周付近は描画エリア内に収まるように調整されます。

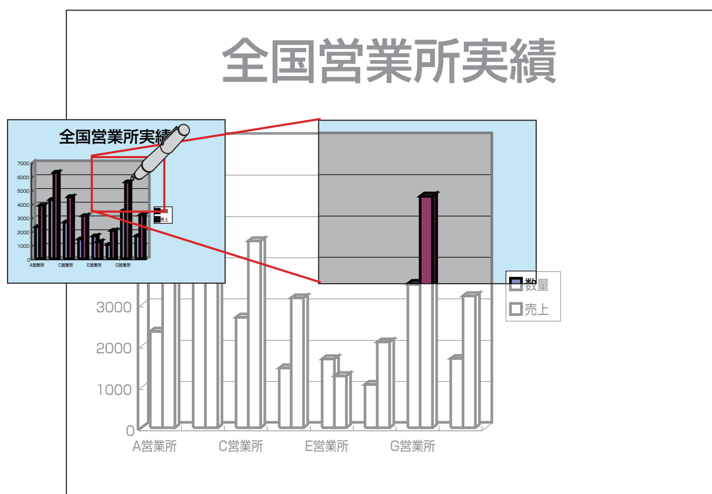
1 [ズーム]アイコンをクリックし、ズーム比率を設定する。

１回クリックするとズーム比率が選択できる状態になります。（初期値は200%です。）
続けて、クリックするごとに　300%→400%→100%→200%　とくり返し設定値が変わります（上記の%は長さの比率を示します）。

2 拡大したい位置をクリックする。

しばらくすると設定している倍率で拡大表示されます。

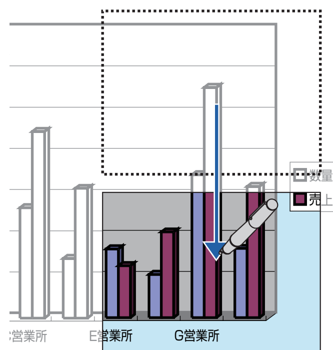
- ［ズーム］アイコンが選択状態になっていないと拡大表示は実行されません。
- 拡大表示中、他のアイコンをクリックするとズームは解除され 100%表示に戻ります。
- 拡大表示での描画やオブジェクトの選択などはできません。



3 表示位置を移動する。

描画エリアをドラッグすると表示位置が移動します。

100%表示に戻すには
他のアイコンをクリックすると 100%表示に戻ります。



UPIC Touch&Draw 操作の概要

1 **資料の準備を行う**

・表示モードを［ホワイトスクリーン］モードに切り替えると、白画面になります。
この描画エリアにデジタルペンを使って文字を描いたり、図表を取り込んでプレゼンテーションなどを行います。プレゼンテーションで使用する図表などはあらかじめパソコンで作成しておいてください。

※本ソフトの描画エリアに挿入可能な画像ファイル形式は JPEG, BMP, PNG, TIFF, GIF です。

・表示モードを「透明スクリーン」に切り替えると、Windows ディスクトップ画面を背景として投影することができます。また、途中で［ホワイトスクリーン］モードに切り替えることもできます。
「透明スクリーン」モードを使用すれば、他のアプリケーションの資料を投影したまま、描画エリアに文字を書いたり画像を挿入することができます。
ただし、本ソフトでは Windows ディスクトップ画面を背景画面としますので、本ソフトのツールバーで操作することはできません。

背景画面のアプリケーションを操作するには

a) 本ソフトのツールバーの「マウス」を選択します。
b) Windows ディスクトップの表示中の画面をクリックして一番前に表示（動作状態）させてから操作してください。

※描画エリア内に画面いっぱいの画像を挿入することはさけてください。描画エリアをクリックするとその画面が選択されてしまいます。その場合は他のアプリケーションで表示させてから、本ソフトに戻し表示モードを「透明スクリーン」に切り替えて表示させてください。

※開いているアプリケーションによっては、描画したデータが正しく表示されない場合があります。

2 **デジタルペンのキャップを外し、パソコンとプロジェクタの位置合わせを行う。(26 ページ参照)**

3 **UPIC Touch&Draw を立ち上げる。(28 ページ参照)**

4 **ツールバーの「ホワイトスクリーン」または「透明スクリーン」を選択する。**

5 **プレゼンテーションの資料を［図の挿入］モードから表示させる。**

あらかじめプレゼンテーション用に本ソフトで作成した TAD ファイルを投影する場合は、［開く］をクリックして、目的の TAD ファイルを開きます。

6 **デジタルペンで追加記述する。**

※ペンの太さ・ペン色またはマーカーなどを選択して文字などを描きます。
※図形を選択してドラッグすると直線や円などを描くことができます。

次ページに続く

7 保存する

※［保存］のファイルの種類は「.jpg（JPEG 形式)」「.bmp（BMP 形式)」「.png（PNG 形式)」「.tif（TIFF 形式)」「.tad（TAD 形式)」が選択できます。

※ .tad（TAD 形式) は、本ソフト独自のファイル形式です。本ソフトの［開く］で開き各オブジェクトの移動・拡大などの編集ができます。
.tad（TAD 形式) は表示モード［ホワイトスクリーン］の時のみ選択できます。

※「.jpg」「.bmp」「.png」「.tif」は画像データとして他のアプリケーションに取り込みが可能です。

8 続けて次のプレゼンテーションを行う場合は、［消去］をクリックし「消去メニュー」画面で［すべてクリア］をクリックして全てのデータを消去し、手順 6 から行います。

ご注意 消去の前に大切なデータは必ず保存してください。

9 終了する。（29 ページ参照）

UPIC Touch&Draw 基本の使い方

UPIC Touch&Draw の基本的な使い方を説明しています。詳しい内容は各項目の説明をお読みください。
基本の使い方は、位置合わせが終り、UPIC Touch&Draw が立ち上がっている状態からの説明です。本ソフトをまだ立ち上げていない場合は 28 ページ「UPIC Touch&Draw の起動／終了」をご覧ください。

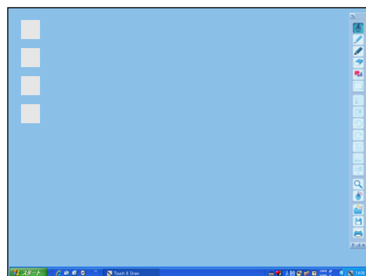
・デジタルペンはキャップを外した状態で約 7 分間使用しないと、自動的にデジタルペンの電源が切れます。使用するときは、一度キャップをデジタルペンにはめてから、再びキャップを外してください。

例：　表示を透明クリーンにしてプレゼンテーションを行います。
　　　操作はワイヤレスインタラクティブパネルに投影されている画面で行います。

---

1 ツールバーの ［表示モード］ を選択する。

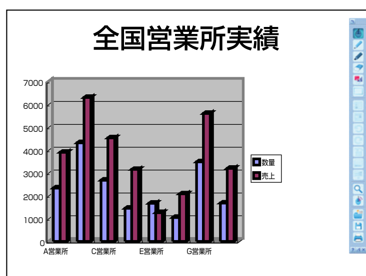
本ソフトを立ち上げたときの表示モードは［透明スクリーン］です。
［ホワイトスクリーン］で使用する場合は、［表示モード］をクリックすると［ホワイトスクリーン］に変わります。



---

2 Windows を操作してプレゼンテーション資料を画面一杯に表示する。

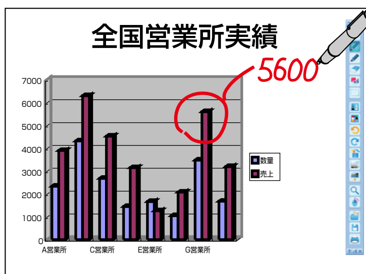
ツールバーの ［マウス］をクリックして目的のプレゼンテーションファイルを開きます。



---

3 デジタルペンで文字や図形を描きます。

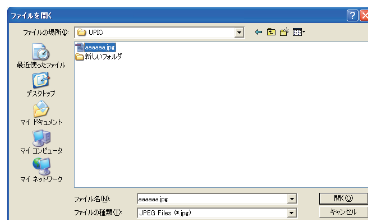
ツールバーの［マーカー］をクリックし、デジタルペンで文字を書きます。
マーカーの色を変えるときは ［色設定］、線の太さを変えるときは［サイズ設定］をクリックして選択します。

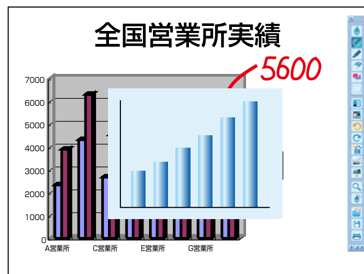


4 説明用の画像を挿入します。

この画像はあらかじめ準備しています。

1) ツールバーの［図の挿入］をクリックすると「ファイルを開く」画面を表示します。
2) 目的のファイルを選択し［開く］をクリックすると「ファイルを開く」画面を閉じて、描画エリアの中央に画像が配置されます。
3) ツールバーの［オブジェクト選択］をクリックした後、画像をクリックするとフレームを表示します。フレーム内をドラッグして目的の位置まで移動します。詳しくは 35 ページ手順 3 をご覧ください。



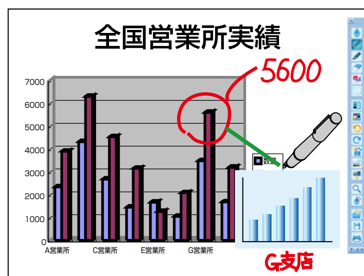


5 線を引きます

1) ツールバーの［図形］をクリックして、「図形挿入メニュー」画面の［直線］アイコンをクリックします。
2) このままドラッグすると書き始めの位置を起点とした直線を引きます。

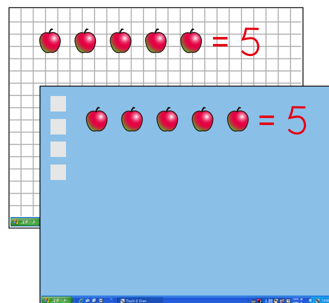
・ 線の太さを変える場合は、［サイズ設定］で 線の太さ（ピクセル）を選択してください。

3) 続いて文字を書く場合は、ツールバーの［マーカー］をクリックして、文字を書きます。



［ホワイトスクリーン］モードで使用している場合、途中で Windows を操作するには

1) デジタルペンでツールバーの［最小化］アイコンをクリックします。
Windows のタスクバーに UPIC Touch&Draw アイコンが置かれます。
2) Windows タスクバーの他のアプリケーション等をクリックすると透明スクリーンに変り Windows 背景画面が表示されます。また入力はマウスモードになります。
この状態でデジタルペンで Windows の操作ができます。
3) 再びホワイトスクリーン画面に切り替えます。
Windows のタスクバーの UPIC Touch&Draw アイコンをクリックすると元の画面に戻ります。
続いてプレゼンテーションを行ってください。

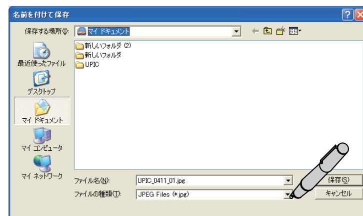


次ページに続く

6 スクリーン画面を保存する

1) ツールバーの［保存］をクリックすると「名前を付けて保存」画面を表示します。
2)「保存する場所」を選択し、ファイルの種類を選択します。
・.tad（TAD 形式) は、ホワイトスクリーンのみ選択でき、［開く］で開いて本ソフトで描画エリアのデータの編集ができます（TAD は本ソフト独自のファイル形式です)。
・「.jpg」「.bmp」「.png」「.tif」は描画エリアと Windows 画面を合成した画像になります。画像データとして他のアプリケーションに取り込みが可能です。
・ファイル名は「製品名＋日付＋連番 .xxx」を自動入力します（xxx はファイル形式の拡張子)。
本ソフト終了後パソコンで分かりやすいファイル名に変更することをお勧めします。

3)［保存］をクリックします。



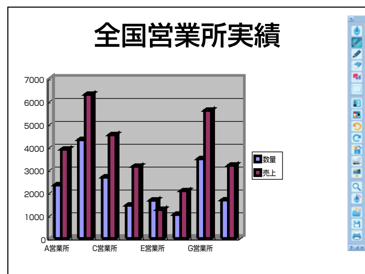
7 続けて新規のプレゼンテーションを行う場合は、描画エリアの画面を消去します。

ツールバーの［消去］をクリックし、「消去メニュー」画面で［すべてクリア］をクリックすると、全てのデータを消去します。

※取りやめる場合は、クリックする前に「消去メニュー」画面以外のところをクリックしてください。

続けるときは 1 ～ 6 の手順で操作を行います。





8 プレゼンテーションを終了する

29 ページ「UPIC Touch&Draw の終了」をご覧ください。

エラーメッセージ一覧

次のエラーメッセージは表示後に UPIC Touch&Draw を終了します。

項目	情報内容	参照ページ
メモリエラー	UPIC Touch&Draw で必要なパソコンのメモリ容量が不足しています。	16
デジタルペン検出エラー	デジタルペンを検出できませんでした。	12, 21

項目	情報内容	参照ページ
位置合わせエラー	・ プロジェクタの位置を調整してから再度位置合わせを実行してください。 ・ 位置合わせが正しく入力されませんでした。	26, 27
デジタルペンのバッテリ残量警告	デジタルペンのバッテリ残量が少なくなっています。	12, 30

デジタルペンのインジケータ表示動作一覧

デジタルペン	インジケータ表示	情報内容
キャップを外したときの動作	最初に点灯して、そのあと消灯	デジタルペンの使用準備完了。
	点滅 (0.5 秒点灯 /1 秒消灯)	現在ペアリング状態にあり、ペアリングを継続しています。
	消灯	デジタルペンは動作していません。 ・ 一度キャップをして、再び外してみてください。 ・ 電池の残量が少なくなってこれ以上使えない状態。
	ゆっくり点滅 (0.5 秒点灯 /5 秒消灯)	乾電池の残量が少なくなっています。 ・ 乾電池を交換してください。
	早い点滅 (0.2 秒点灯 /0.2 秒消灯)	エラーが発生しました。 ・ キャップをして、再び外してみてください。
使用中の動作	消灯	使用可能状態
	ゆっくり点滅 (0.5 秒点灯 /5 秒消灯)	乾電池の残量が少なくなっています。 ・ 乾電池を交換してください。
	早い点滅 (0.2 秒点灯 /0.2 秒消灯)	エラーが発生しました。 ・ キャップをして、再び外してみてください。

お知らせ

キャップを外した状態で約 7 分間使用しないと、自動的にデジタルペンの電源が切れます。電源を入れるには、一度キャップをデジタルペンにはめてから、再びキャップを外してください。

こんなときには

デジタルペン関係

状　態	ご確認ください
デジタルペンのインジケータが点灯 / 点滅しない	・ デジタルペンに乾電池は入っていますか？ ・ 乾電池が消耗していませんか？ ・ 乾電池の極性（+ と - の向き）間違えて入れていませんか？
デジタルペンのインジケータが 0.5 秒点灯 /1 秒消灯	・ デバイス（装置）との接続、またはデジタルペンとのペアリングが完了していません。デジタルペンとパソコンとのペアリングを行ってください。
デジタルペンを認識しない(ペアリングができない)	・他のパソコンと既にペアリングを行っていませんか？ ・Bluetooth USB アダプタ又は Bluetooth 内蔵のパソコン本体側の機能が停止していませんか？ ・乾電池が消耗していませんか？
デジタルペンを認識したが描画できない	・ パネル面垂直に対してデジタルペンを 45 度以上倒して使用していませんか？ ・ パネル表面に粘着テープ等を貼っていませんか？ ・スタイラスが消耗していませんか？
複数本のデジタルペンで同時に書き込めない	・ 複数本の使用は、同時には描けません。 他の人が書き終わってから書いてください。
デジタルペンの長押しでマウスの右クリック機能が動作しない	・ パソコンの「マウスのプロパティ」の「クリックロックをオンにする」が選択（チェック）されていませんか？ ※パソコンから [スタート] → [コントロールパネル] → [プリンタとその他のハードウェア]注) の[マウス]にあります。 注)Windows Vista では［ハードウエアとサウンド］です。

インタラクティブパネル関係

状　態	ご確認ください
マーカーで描いたものが消えにくい	・ パネルに描いた文字等を長時間放置していませんか？ ・ 専用マーカー以外のマーカーを使用していませんか？ ・ シンナー、ベンジン等で拭いていませんか？
インタラクティブパネルの密着力が弱い	・ マグネットタイプの場合は、水を含ませた布で、押えバー裏側のマグネット部および裏面（磁気層）のゴミや汚れを拭き取ってください。

●テクニカルサポート

製品およびソフトウェア等の問題が解決できない場合は、プラス「お問い合わせセンター」までお問い合わせください。

TEL 0120-944-086　　FAX 0120-331-859

受付時間：月〜金　9:00 〜 17:30（土・日・祝日、年末年始および当社指定の休日を除く）

仕様

製品型名		UPIC-56M	UPIC-64M	UPIC-W72M
設置方式		マグネットシートタイプ		
外形寸法		1160W×11.3D×855H※1	1330W×11.3D×995H※1	1630W×11.3D×1070H※1
質量（ペン、付属品除く）		約 1.6kg	約 2.1kg	約 2.8kg
パネル				
	サイズ (mm)	1130W × 845H	1300W × 975H	1600W × 1050H
	読取方式	アノトペンによるアノトパターン読取方式※2※3		
デジタルペン※2※3				
	機種名※4	ADP-301（型式名：DP-301）		
	電源	単 4 アルカリ電池 1 本（1.5V）		
	インターフェース	BLUETOOTH2.0 準拠　クラス 2※5		
	本体質量	約 40g(電池含む)		
	動作時間	連続筆記時 約5時間、スタンバイ状態で約150時間（キャップをはずした状態）		
使用条件				
	温度	0℃～ 40℃		
	湿度	30 ～ 85%　（無結露状態）		
機能				
	インタラクティブモード	ホワイトスクリーンモード、透明スクリーンモード、マウスモード、ファンクション（ペン色（8 色）／マーカー色（8 色）／消しゴム／ペン、マーカー、消しゴムのサイズ切替／図形の挿入／ページ内容の削除／画面モード切替／印刷／ファイルの入出力）		
	ホワイトボード	マーカー書込み		
付属ソフトウェア動作環境				
	対応 OS	Windows XP (Service Pack 3 以上）/Windows Vista 32 bit 版※6		
	対応 PC 機種	上記 OS が動作するプリインストール機		
	CPU	Pentium4 以上のプロセッサ		
	メモリ	512MB 以上		
	ハードディスク	200MB 以上		
	ディスプレイ解像度	1024 × 768 ピクセル以上、High Color 以上		
	デバイス	Bluetooth アダプタ※7、PC 標準の USB ポート、CD-ROM ドライブ		
	対応 Bluetooth スタック	Microsoft® Bluetooth® スタック Broadcom's Widcomm® Bluetooth® software スタック Toshiba Bluetooth® スタック BlueSoleil Bluetooth® スタック		

※ 1: 最大突起部を含む。
※ 2: デジタルペンによる描画には PC およびプロジェクタが必要です。
※ 3: 動作原理等の詳細は http://www.anoto.co.jp/ をご覧下さい。
※ 4: 機種は予告なく変更になることがあります。
※ 5: Bluetooth が内蔵されていないパソコンにデジタルペンを接続するには、別途 Bluetooth アダプタが必要です。
※ 6: 本動作環境で、すべての動作を保証するものではありません。
※ 7: Bluetooth USB アダプタは付属しておりません。推奨する市販品については、当社ホームページの製品ページをご参照ください。

● デジタルペンは別売品により単体で購入いただけます。　詳細は、当社ホームページをご参照ください。但し、複数本のデジタルペンを同時に使用することはできません。

●別売品一覧

品 名		注文番号
デジタルペン ADP-301		44-986
デジタルペン ADP-301 用スタイラス		44-987
専用マーカー	ブラック	44-070
	レッド	44-071
専用イレーサー（ER-44369）		44-369
コマンドシート		44-910

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合は、次の要領で修理させていただきます。お近くの弊社営業所・販売会社・取扱い店、もしくは弊社「お問い合わせセンター」にお申し出ください。なお、保証内容、使い方など不明な点につきましても、お近くの弊社営業所・販売会社・取扱い店、もしくは弊社「お問い合わせセンター」にお問い合わせください。

●無料修理

故障した製品についてはご購入年月日、販売店名の記入された保証書（ご購入日より 1 年以内）が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲で、無料修理させていただきます。

※詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

●有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内にあっても、下記のような場合はすべて有料となります。また、運賃諸掛りは、お客様にご負担願います。

1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または字句が書き換えられている場合。
3. 弊社または取扱店以外で分解、改造されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取扱い上の不注意 (使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛り、砂・泥の付着、機内部への水・砂・泥の入り込みなど)、保管上の不備 (高温多湿やナフタリン、樟脳の入った場所での保管)、お手入れの不備 (かび発生) により生じた故障。
6. 上記以外で弊社の責に帰することのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

● 修理不能

浸（冠）水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くの弊社営業所・販売会社・取扱い店、もしくは弊社「お問い合わせセンター」にお問い合わせください。

●修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
3. 修理箇所のご指定がないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故をさけるため、修理品から取りはずしてお手元に保管してください。
5. 修理のために輸送する場合は、購入時の外箱か同等の箱に入れてしっかり包装してください。

●修理部品の保有期間

本機の補修用部品は、製造中止後 5 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則としてお引受けいたします。なお、部品保有期間が終了している場合は、お近くの弊社営業所・販売会社・取扱い店、もしくは弊社「お問い合わせセンター」にお問い合わせください。

本製品に関するお問い合わせ

TEL 0120-944-086　　FAX 0120-331-859

※携帯電話・PHS からもご利用いただけます。

受付時間：月～金 9：00 ～17：30（土・日・祝日、年末年始および当社指定の休日を除く）

PLUS Corporation

プラス株式会社

本製品に関するお問い合わせ

TEL 0120-944-086

FAX 0120-331-859

ISO 14001 認証取得　　　ISO 9001 認証取得

24-4511-09C